

令和6年度岩手県在宅医療人材育成研修事業
介護施設職員向け研修『高齢者施設等と医療機関の連携強化について』開催要項

1 目 的

当該事業は、高齢者等が住み慣れた地域や自宅で在宅療養できるよう、医療従事者及び介護福祉関係者に対して必要な知識、技術を伝達し、その意識を高めるための契機とすることを目的とする。

2 テ ー マ

『高齢者施設等と協力医療機関の連携強化について』～現状と課題～

3 対 象

岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会所属施設、いわて地域密着型サービス協会所属施設及び岩手県介護老人保健施設協会に所属する施設に勤務する職員並びにその他岩手県内介護関係事業所の従事者

4 開催方法

(1) 実地研修及びオンデマンド配信のハイブリットで実施

①実地研修 … ・定員 200 名

・開催日時：令和7年3月7日(金)13:30～16:00

・会場：盛岡地域交流センター（マリオス）小ホール

②オンデマンド配信 … ・聴講 400 名

・期間：令和7年3月8日(土)～令和7年3月15日(土)

(2) 受講料 … 無料

(3) 周知方法 … 岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会、いわて地域密着型サービス協会及び岩手県介護老人保健施設協会の事務局経由で各所属施設宛てにメールで周知

(4) 申し込み方法 … 令和7年2月20日(木)までに施設ごとに参加申込書を添付してメールで申し込む

後日、実地研修受講者には入場整理券を、オンデマンド配信受講者には視聴のための URL を送信

5 内 容

(1) 基調講演

【講師】

八幡平市病院事業管理者（八幡平市立病院） 望月 泉 氏

(2) パネルディスカッション

【ねらい】

厚労省は令和6年度診療報酬及び介護報酬の改定にあたって、高齢者施設等で入居者の容体急変時などに対応する「協力医療機関」との連携体制の構築を義務付けました。

義務付けにかかる期限を3年とし「協力医療機関」には以下の要件が求められます。

①常時相談対応できる体制の確保

②診療体制の確保

③入院受け入れ体制の確保

などが要件となります。施設側には病状が軽快し、退院が可能となった場合、速やかに再入所ができるよう準備が求められます。

背景には「医療機関の指定を明記しても連携がなかなか難しいこと」や「新型コロナウイルス感染症の教訓をどのように活かすか」、「地域包括ケアの観点などから関係機関の構築」が掲げられております。

我々も新型コロナウイルス感染から大きい課題を突き付けられました。県内老健施設の新型コロナウイルス感染関連調査（令和5年3月16日～3月24日実施）から、第6～8波のクラスターでは患者数2,772人、死亡数126人（致死率4.55%）を認めました。また、入院希望があつたにもかかわらず願いが叶わなかった方々も少なからず見られております。

岩手県は医療充足指標ワーストで、広大な面積と人口減少高齢社会を背景にそれぞれが人材確保などに窮しております。「協力医療機関」について、現場からの忌憚のないご意見を頂きたく存じます。

【パネラー】

老人保健施設 ハイム・ベルク 施設長	吉崎 陽 氏
特別養護老人ホームさくら爽 常勤医師	山岡 豊 氏
小規模多機能ホームいづな (特定非営利活動法人 ともにあゆむ会 統括施設長)	佐々木 貴洋 氏
共生型グループホーム 白山の里 (特定非営利活動法人 里・つむぎ八幡平 理事長)	高橋 和人 氏

【助言者】

八幡平市病院事業管理者（八幡平市立病院）	望月 泉 氏
----------------------	--------

【座 長】

一般社団法人岩手県介護老人保健施設協会会長	長澤 茂
-----------------------	------

6 主 催 岩 手 県

7 運 営 一般社団法人岩手県介護老人保健施設協会

8 後 援 (予定)

岩手県医師会・岩手県歯科医師会・岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会・いわて地域密着型サービス協会・岩手県介護支援専門員協会・岩手県看護協会・岩手県社会福祉士会・岩手県栄養士会・岩手県介護福祉士会・岩手県理学療法士会・岩手県作業療法士会・岩手県言語聴覚士会

【申込み・問い合わせ先】

岩手県介護老人保健施設協会事務局

住所：〒021-0021 一関市中央町2丁目4-2

電話：0191-48-5120 FAX：0191-48-5121 E-mail：i3syukaij15@vesta.ocn.ne.jp